

高齢化が進む中、

介護は誰が担うべきものなのか

なぜ女性に負担が偏りがちなのか

介護と ジェンダー

～ケアを社会で支えるために～

長年この問題に向き合ってきた視点から、家族・地域・社会の役割を問い直し、介護保険制度の充実を含め、無理なく支え合えるこれからのケアのあり方について上野千鶴子さんにお話しいただきます。誰もが安心して老後を迎えられる「ケア社会」の構築に向けて共に考えましょう。

2026年

6 / 3 水

13:00 ~ 15:00
(開場 12:30)

講師：上野千鶴子さん

社会学者・東京大学名誉教授・認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長・上野千鶴子基金代表理事。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。
専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

著書：『当事者主権』（中西正司と共著、岩波新書）、『ケアの社会学』（太田出版）、『おひとりさまの老後』（法研）、『在宅ひとり死のススメ』（文春新書）、『史上最悪の介護保険改定?!』（樋口恵子と共編著、岩波ブックレット）、他多数。最新刊は『上野さん、主婦の私の当事者研究に付き合ってください』（森田さちとの共著・晶文社）等がある。



© 後藤さくら

場 所：主婦会館プラザエフ B2 クララルテ

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

[JR 四ツ谷駅 麹町口 徒歩 1分]

[地下鉄南北線 / 丸ノ内線 四ツ谷駅 徒歩 3分]

お申込み：件名を「6/3 ゼミナール」として、お名前、連絡先（電話又はメールアドレス）を下記主婦連合会事務局までお知らせください。（定員 70名）

主婦連合会 Tel 03-3265-8121
E-mail info@shufuren.net

